

問 部活動の地域移行による現状と課題は 答 6年度の準備委員会で協議

問 ふるさと納税の専門部署設置の考えは 答 現体制を維持しながら進める



窪田裕二議員



部活動の地域移行による
現状と課題は

令和5年度から「和寒町部活動のあり方検討協議会」を設置、その後数回会議が開かれているが、

- ①進捗状況は
- ②財源確保は
- ③近隣市町村との連携と移動手段は。

沓澤教育長

昨年6月、講師を招き教職員・保護者・スポーツ・文化団体関係者を対象に説明した。

その後、8月に関係者・保護者など11名からなる第一回あり方検討協議会を開催、11月には保護者・教職員からのアンケートをもとに協議した。

今年2月には、第三回目の会議を開催して教育委員会に提言書を提出できるように進めている。

財源と移動手段については令和6年度、新たに組織する準備委員会の中で協議していく。

○再質問

急激に子ども達が減る中、

年々環境も変化しているが、財源問題や他市町村との協議も必要ではないのか。

沓澤教育長

合同部活動・交通費・報酬などは、今後の提言書の中で出てくると考える。



▲和寒中学校野球部の集合写真

ふるさと納税や移住定住などの専門部署設置の考えは

和寒町のふるさと納税は、5800万円をピークに現在は、3000万円前後になっている。

以前から、専門部署設置の提案はしているが現在も行われていない。

寄付額が増えることで移住定住などの事業を行えると考え

- ①設置出来なかった理由と今後の設置予定は
- ②令和6年度の目標と計画は
- ③委託の考えは

奥山町長

現在の職員数では専門部署に人員を配置することが困難なため、今後設置する考えはない。

令和6年度の目標と計画は、5000万円を目標に進め、インターネット上の返礼品が上位に来るような対策に取組む。

委託は、令和6年度の地域おこし協力隊の募集の中で考えていく。